

## 益田市における地区活動と部会活動による介入効果の検討

|            |             |           |                          |            |                         |
|------------|-------------|-----------|--------------------------|------------|-------------------------|
| カタオカ<br>片岡 | ダイスケ<br>大輔* | ソネ<br>曾根  | トモフミ<br>智史 <sup>2*</sup> | タニハタ<br>谷畑 | タケオ<br>健生 <sup>3*</sup> |
| タニグチ<br>谷口 | エイサク<br>栄作* | マキノ<br>牧野 | ユミコ<br>由美子 <sup>4*</sup> | ナカガワ<br>中川 | アキオ<br>昭生 <sup>5*</sup> |

**目的** 「健康ますだ21」は2001年度を初年度として、2004年・2007年に中間評価、計画の見直しを行い、2010年を目標年次とする10か年計画である。「健康ますだ21推進協議会」の下部組織として、「栄養・食生活と歯科保健部会」「たばこと酒部会」「運動とストレス部会」の3つの部会がある。市域15地区では、3つのうち1つの部会の活動テーマを3年ずつ重点的に展開している。本研究の目的は、中間評価の一環として、過去3年間の活動が益田市民の健康行動の向上に有用であったか否かを検証することである。

**方法** 対象は、益田市15地区から無作為に抽出された20歳以上の男女4,000人である。「栄養・食生活」、「歯の健康」、「たばこ」、「アルコール」、「身体活動・運動」、「休養・こころの健康づくり」の6分野、合計29の指標について、市民の健康づくりに対する意識・行動等を調査した。まず市全体の集計結果を、行動目標値と照合した。つぎに2000年に行われた健康行動調査時のベースライン値と、2004年の指標値を市全体で比較した。さらに2000年と2004年の指標値を、延べ6つの性・年齢階層別に比較した。最後に過去3年間に重点的に展開した活動テーマにより、15地区を3つの地区群にまとめ、地区群別に比較した。

**結果** 回収数は2,946件（回収率73.7%）であった。益田市の行動目標を達成した指標は、「男性の喫煙率」であった。2000年と2004年の指標値を比較したところ、市全体において11指標が有意に改善し、5指標で悪化を認めた。5つの性・年齢階層では、改善した指標数が悪化した指標数を上回った。各地区群の重点分野で合計7指標が改善し、これら7指標の全ては、市全体においても有意に改善を示した。各地区群の重点分野で悪化した指標はなかった。

**結論** 15地区が部会の活動テーマを推進することにより、各地区で弱点分野を補強しながら、市全体の健康行動の向上に寄与している可能性が高いことが示唆された。今後これらの活動がさらに多くの市民に認知され、各年齢階層および各地区で生活習慣の改善に結びつくことが期待される。

**Key words** : 健康ますだ21, 中間評価, 地区活動, 部会活動

\* 島根県浜田保健所

<sup>2\*</sup> 国立保健医療科学院公衆衛生政策部

<sup>3\*</sup> 国立保健医療科学院疫学部

<sup>4\*</sup> 島根県出雲保健所

<sup>5\*</sup> 島根県益田保健所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町254

島根県浜田保健所 片岡大輔